

日本共産党府会議員



山内 よし子

です
Yamauchi Yoshiko

春本番 政治の花も咲かせよう



っと暖かい春の季節がやってきましたが、皆さんお変わりありませんか？

2月議会では本会議質問に立ち、生活保護の問題と高齢者の介護問題について質問しました。

税と社会保障の一体改悪で、国も地方も弱いものいじめばかりです。消費税を増税して、年金の引き下げ、生活保護や介護保険の改悪など許せません。

本当に安心して暮らせる政治への転換のために引き続き皆さんと力を合わせてがんばります!!

その願いを実現するために

年をとっても安心して暮らしたい!!

▽2013年度予算特別委員会・2月定例府議会

REPORT
議会報告

施設から在宅へ…？ あなたは安心できますか？

京都府の在宅療養安心登録システムは在宅療養中の高齢者が事前に病院に登録しておいて、体調を崩して在宅での対応が困難になったときに、スムーズに入院し、1週間程度で退院するというシステムです。しかし登録してもベッドの空きがなければ入院できません。登録はできても、どこも満床ならどこが責任を持っ

て調整するのか？と質問しましたが、部長は「相談は地域包括ケア推進機構に」と、医師会丸投げの姿勢でした。

真に、いつでも必要な入院と安心して在宅療養できる制度の拡充を国と自治体の責任で行うことこそが求められています。

REPORT
議会報告

特別養護老人ホーム等の施設整備に 正面から取り組むべき!!

国の考える「在宅」とは、「介護の必要な高齢者をワールームマンションなどに集めて、そこで効率的に介護サービスを提供する」というもので、高齢者の生活保障や介護保障・住まいの保障といった概念はまったくな

いことを指摘し、施設整備を求めました。

府は特別養護老人ホームの整備と併せて、認知症、グループホームなどの地域密着型施設を整備していく、と回答しました。

REPORT
議会報告

年金の削減に反対しよう!! …請願の審査から

今年の10月から3年間で年金を2.5%切り下げる法律が、11月16日の国会最終日に、まともに議論されずに成立しました。

3年間で基礎年金は22,500円、厚生年金は78,000円も減額され、介護保険料や、医療費、税金の負担など負担ばかり増えれば生活できない高齢者が激増します。

今議会には多くの請願が出され、府民生活厚生常任

委員会に5本が付託。内4本にわが党は紹介議員になりました。

年金の削減に反対する意見書をあげてほしいという請願も出されましたが、自民党議員は「本来これまで下げてこなかったことが誤りだった」「物価が下がったときに下げなければならなかった」と反対しました(民主党は黙って反対しました)。



年金者組合の要請



ハローワーク前での聞き取り活動



緊急経済対策要求集会デモで